

技術開発支援制度利用の手引き

財団法人 大阪科学技術センター
ATAC 三原 恵二郎 / ATAC 成富 辰雄

1. 支援制度の種類

毎年度の国の施策として、研究開発・企業活性化等助成事業の多くが毎年12月から2月にかけて中小企業向けに公募されます。国の予算で中小企業に関係深い制度の一例として下記に中小企業庁が推進する支援制度と文部科学省の関係機関である独立行政法人科学技術振興機構が実施する支援事業を紹介します。これら以外にも各省庁が実施する支援制度が多数ありますので各ホームページを参照して検討することをお勧めします。

(1) 経済産業省が進める支援制度

経済産業省は経営改善・技術開発全般に公募制度があります。平成15年度予算では中小企業の技術革新支援として77億円の予算が組まれていました。来年1~2月に公募されると見られる委託・補助金は以下の通りです。

委託・補助金の名称	1件当り委託・補助金額	実施期間
地域新規産業創造技術開発費補助金	3000万~1億円以内	2年
地域新生コンソーシアム研究開発事業(中小企業枠)	3000万円以下	1年

(2) 独立行政法人科学技術振興機構(文部科学省関係)が進める支援制度

科学技術振興機構は科学技術の基礎研究から中小企業の技術開発まで幅広く技術研究支援を実施しています。本機構が実施する支援制度で、大学や公的研究機関の研究成果を中小企業が活用する際便利な制度として「新技術の企業化開発」枠があり平成15年度は総額97億円でした。1~2月に公募されると見られる委託・補助金は以下の通りです。

委託・補助金の名称	1件当り委託・補助金額	実施期間
研究成果最適移転事業(独創モデル化)	2000~3000万円	1年
研究成果最適移転事業(権利化試験)	2000~3000万円	2年
委託開発事業	1~20億円	2~6年

(3) 地方行政機関

各府県が実施する支援制度があります。このタイプは府県によって種々の名称がついています。期間は1年単位で補助金額は500万円~1000万円で補助率は1/2~2/3位が多いようです。またこの種の補助金は「中小企業創造活動促進法」の認定企業が対象になりますので、申請窓口にもって相談することが有効です。

府県名	委託・補助金の名称
大阪府	技術向上奨励費補助金
奈良県	中小企業技術開発促進補助金
滋賀県	滋賀の新しい産業づくり促進費
京都府	創造技術研究開発費補助金
兵庫県	技術向上奨励費補助金

2. 申請に際しての留意事項

採用は主として書類審査によるものですから、申請書の書き方が採否に大きく影響します。下表の5項目に留意して明確に記述することが大切です。

- イ. 時代が要求しているテーマである。
- ロ. 目的が明確である。
- ハ. 概要がしっかりと纏まっている。
- ニ. 内容が矛盾なく一貫している。
- ホ. 所要経費が研究内容に沿っている。

ATACでは中堅・中小企業向けの補助金の公募について、その都度「ATAC公的支援ニュース」として、その情報を希望して登録されている企業様に電子メールまたはファックスでお届けしています。また上記支援制度活用に関してATACは申請手続き、採択ガイダンス等企业サイドに立ったお手伝いを実施していますので、ご相談をお待ちしています。

(4頁に新規申込書がありますのでご希望の方は、FAXにてお申し込みください。)

盛り上がった 第2回社長懇話会

世界を駆ける「はんだごて」 白光株式会社 見学と懇談会

第2回ATAC社長懇話会を7月23日(水)10時より、リーガロイヤルホテル堺に20名の中堅・中小企業社長および幹部と、ATACメンバー約20名が集合し開催しました。

スケジュールに従いまず白光株式会社の工場見学を行いました。当社は「はんだごて」の世界有数メーカーで、現在鉛フリーはんだ対応製品で活況を呈しており、2年前に就任された吉村加代子社長が女性の感性を生かし、革新を推進されているユニークな会社です。

【工場見学】

白光株式会社は今年4月より生産革新を実施し、3ヶ月間に次のような成果を挙げたとの報告がありました。

- 1) リードタイム：10～14日→5日に短縮
- 2) 仕掛品在庫：20～30日→6日に短縮
- 3) 生産性：1.5倍(一人当たりの時間効率)に向上



ご説明を聞いたあと工場見学に移り、その成果をつぶさに見聞することができました。

【懇談会】

工場見学の後、リーガロイヤルホテル堺に移り、昼食休憩後約1時間白光株式会社吉村加代子社長から、本日のテーマ「人材育成と社内活性化」について経営方針や抱負などを含め、たいへん参考になるお話を聞くことができました。

音楽が大好きで、音楽学校に入り将来オペラ歌手を目指していた経済も技術も知らず数字に弱い私が社長に指名されたとき、一体誰が何故決めたかと疑いました。しかし、究極の楽道家で仕事は海外営業しか知らないが、ここは生来の負けず嫌いで開きなおるかなと決心したのです。私は音楽の勉強で音楽を続けるのに必要な3要素

- ①志を持ち続ける
- ②自分に打ち勝つ強靭さ
- ③感性を磨くこと を学ぶことができました。

私の役目はよい指揮者になることです。音楽ではいろんな指揮者がいます。カラヤンは高慢的でこの音出せのタイプですが、私はバイオリンなど各パートの人の意見を聞く小沢征爾タイプの指揮者になりたいのです。

白光株式会社は2000年、売上高63億円で過去最高を記録しましたが、私が社長になった2001年5月からIT不況に巻き込まれ白光株式会社始めて以来誰もが経験したことのない1億円の赤字を出しました。

もがいても成果が上がるわけではないので、来年・再来年・3年後の種をまくことを考えました。開き直ると女は強い、絶対取り返してやるよと勇気が湧いてきたのです。そこで鉛フリーはんだごてを市場がシュリンクしている間に広めようと、低利益で市場にばらまく戦略を取りました。これが今生産に追われるうれしい悲鳴となっています。こうして、就任1年目の赤字1億円を2年目にお返しし、今年50期を迎える3年目をスタートと考え「第50期は生産革新の年とする！」を会社方針としたのです。

楽譜しか読めない私を168名の従業員が支えてくれて、白光株式会社はいい方向に進んでいます。従業員の能力を最大限に引き出すことを考え、各グループを代表して10人のメンバーで経営会議を月1回開いていますが、軌道に乗って面白くなってきました。

吉村社長のお話は音楽のリズムが流れるように1時間続き、大物経営者になる素質充分と一同深い感銘を受けた次第です。このあと創業者の吉村博会長から補足説明があり、参加者との活発な質疑応答や意見交換で盛り上がりましたが、最後に吉村社長に感謝の意を表して午後5時散会しました。(田頭 記)



この頁を読者の皆様とATACとの相互交流に使っています。
今回は、「読者の掲示板」のかわりに「ATACひと言」を載せました。

ATAC ひと言

星野阪神の優勝を経営に活かそう

阪神ファン待望のセ・リーグ制覇を果たしてくれた星野監督の突然の勇退報道には驚かされました。惜しまれての勇退は、道路行政と鮮明な対比を描き出しているようにも見えます。

星野監督は、燃える男、闘将の異名をもつ一方で、優勝の瞬間、赤星を抱き抱えたり巨人の原監督への花束と抱擁のシーンなど、暖かい包容力を彷彿させるリーダーとしての素晴らしい一面をも我々に示唆してくれました。闘志をみなぎらせて先頭にたって戦う姿勢は、比較的誰にでもやれば出来ない事ではありません。しかし、修羅場の中でメンバーや裏方のスタッフにまで心を配り、労をねぎらい暖かく包む包容力は、ちょっとやさそとの努力で出来ることではないでしょう。

勿論、阪神の今年の躍進は、今までの阪神では考えられなかった程の、戦力への積極的な投資や、他球団主力選手の故障などの幸運も手伝ってはいます。しかし、星野監督のリーダーとしての求心力、選手を裏切らない信頼度、指導力は我々の経営に対する手本としても大いに参考にするべきことが多く含まれていたように思います。心から星野監督ありがとうございますと言いたい気持ちです。(梶原 記)



企業 PR コラム

「粟おこし」から「洋風おこし」まで 老舗に新風を吹き込む

株式会社 あみだ池 大黒 代表取締役社長 小林 隆太郎



あみだ池大黒の創業は文化2年(1805年)、経済の中心地大阪で諸国から集まる良質の米や砂糖を原料に「おこし」を作ったのが始まりです。わざわざ米を細かく砕いて粟状にし、「粟おこし」の名で親しまれました。

そして創業以来200年の長い歳月を経て育たれ、素材の良さを生かした味わいと、香ばしい風味で、味に厳しい大阪の人々に好まれ、また大阪名物として全国に名を知られてきました。

近年はこの伝統の味に加えて、独創性に富んだ新製品の開発に注力し、ピーナッツ、アーモンド等の素材を使用したチョコレート菓子や欧風創作菓子等、新感覚の製品の製造販売にも努めております。

現在一層の品質向上を目指しATACの協力を得て、プロジェクトチームを編成し活動中です。

当社の製品は大阪の各デパート、新大阪駅、高速道路、空港、USJ(ユニバーサルスタジオ)等で販売していますので、ご愛用のほどお願い致します。

株式会社 あみだ池 大黒
(本店)

〒550-0014

大阪市西区北堀江3丁目11-26

TEL 06-6538-2987 FAX 06-6531-0362

E-mail : kobayashi@daikoku.ne.jp

URL <http://www.daikoku.ne.jp>



ATACホームページもご覧下さい

ATACニュース第4号に関するご意見、および今後のご要望をどしどしATAC事務局までご連絡ください。

担当/三原・橋本

ATAC事務局

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

(財)大阪科学技術センター 技術・情報振興部

TEL06-6443-5323 FAX06-6443-5319

e-mail : atac@ostec.or.jp

URL <http://www.ostec.or.jp/tec/atac/index.html>

ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。

～ATAC規約第2条より～

ATACは上記の目的に則り、これまで12年にわたり中堅・中小企業の発展のために数々の活動を推進してきました。その主なものを挙げますと

1. コンサルティング

ATAC活動の大部分を占める業務で中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて450件以上のコンサルティング業務に携わってきました。

2. セミナー開催・講師派遣

ATACは従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。また、講演会・研修会などへの講師派遣も行っています。

3. 書籍刊行

中堅・中小企業の発展に役立つため、これまでに刊行した書籍は下記の通りです。

- ATACの経営便利帳
- 現場の課題解決はこうする
(中堅・中小企業の業務改善事例)
- 中堅・中小企業へのATAC提言集
 - ① 新商品開発のヒント
 - ② ISO9000認証取得の手引き
 - ③ ISO14001認証取得の手引き
 - ④ 中小企業のためのIT
 - ⑤ 材料選択の手引き
 - ⑥ 設計を考える

4. NASCA(産学連携のお手伝い)

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

5. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

新たに公的支援情報サービスをご希望の企業の方は下記の申込書にご記入の上、FAX(06-6443-5319)でお申し込みください。

公的支援情報送信サービス新規申込書

企業名
所在地
担当者
TEL
FAX
E-mail
公的支援情報送信先(どちらかに✓してください)
<input type="checkbox"/> FAX / <input type="checkbox"/> E-mail

書評

「能力構築競争」“日本の自動車産業はなぜ強いのか”

藤本 隆宏著 平成15年6月25日 中央公論社刊(中公新書)¥960

日本の自動車産業は製品の品質、世界市場でのシェアなど、現在も世界のトップレベルにある。1990年代後半から続いてきた、日本の製造業への悲観論は企業収益の回復もあってここに来て後退してきた。日本のモノづくりへの自信回復を先導しているのは、トヨタ自動車など自動車産業である。日本の製造業の中で、なぜ自動車産業が傑出して強いのか、この疑問に答えようとしたのが本書である。

その強さの秘密に著者が得た概念が、企業の開発や生産現場で総合的な実力を競い合う「能力構築競争」である。単純化していえば、欧米メーカーが表層の競争力に依拠して収益をあげているのに対し、日本メーカーは裏方の実力を示す深層の競争力である。その力を絶えず向上させていくのが能力構築競争であり、日本の自動車産業を世界のトップに押し上げる原動力になったと分析している。日本産業をみる幅広く、斬新な視点は長期不況下において自信喪失に陥っている日本企業の再生に向け、明確な示唆を与えてくれる。新書では珍しい400頁ものの著作で読みごたえがある。(藪野 記)

